

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 令和4年9月16日

事業所名：総合支援センターエスポワール尼崎

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	十分にスペースがある	はい100%	引き続き過ごしやすい環境を確保します。
	2	職員の適切な配置	看護師を含め手厚い体制がとれている	はい78% わからない・どちらともいえない22%	今後も十分なスタッフ確保に努めます。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	車いすやバギーでも快適に過ごせるような構造になっています	送迎時ドライバーが1人の時があるので常時2人にしてほしい はい100%	濃厚接触やコロナ陽性でスタッフの少ない日があるのでスタッフ確保に努めます。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	日々の清掃はもちろん、アルコール消毒をたくさん配置し、清潔保持に努めています	はい100%	コロナ対応を含め、日々試行錯誤を繰り返し清潔な空間を確保します。
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	常日頃からスタッフが意見が言いやすい関係づくりに努めています		今後も風通しの良い組織になるよう努力します。
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現在は第三者評価を受けておりませんが今後は検討していきたいと考えております。		現在は第三者評価を受けておりませんが今後は検討していきたいと考えております。
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	法人内で研修の機会を作っています。		今後も資質向上のための研修機会を確保します。
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	各関係機関との連携を図りながらアセスメントを行っています。	はい88% わからない・どちらともいえない12.5%	今後も連携を継続し、ニーズ把握や課題の解消に努めます
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	スタッフ全員で日々の活動内容を検討実施しています。		今後も保護者のご意見を頂きながら日々の活動を検討してまいります
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	既定の様式を使い、利用児童それぞれに合わせた計画を作成しています。		今後も1人1人に合わせた計画作成を定期的に行います。
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	作成した支援計画はスタッフ全員が確認できるようにしています。	はい75% わからない・どちらともいえない25%	更にスタッフ全員が理解を深めれるように対応してまいります。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	定期的にスタッフ同士で話し合い活動プログラムを立案しています。		活動が偏らないように様々な情報を収集し児童が楽しめるプログラムを立案します。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	保護者のニーズを把握しそれぞれのサービス提供時間に合わせた活動をしています。		保護者のニーズ把握に引き続き務めます。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	スタッフ全員で日々の活動内容を検討実施しています。	はい100%	活動が偏らないように様々な情報を収集し児童が楽しめるプログラムを立案します。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	朝礼時にその日のスタッフの役割を確認しています。		引き続き継続してまいります。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	その日出勤していないスタッフもいるため連絡帳の控えを確認しています。		連絡帳の控えを確認するとともに申し送りノートを作成します。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	スタッフ全員で記録の徹底をしています		スタッフ全員で記録の徹底をします。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	児童発達支援管理責任者を主としスタッフ全員で計画作成や見直しを行っています		今後も定期的にモニタリングを継続し1人1人に寄り添った計画を作成してまいります。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	基本的に管理者または児童発達支援管理責任者が参画しています。		引き続き継続してまいります。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	各関係機関との連携を図りながら医療的ケアを行っています。		今後も細心の注意を払い医療的ケアを行ってまいります。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	主治医からの指示書を基に保護者とも連携しながら医療的ケアを行っています。		今後も細心の注意を払い医療的ケアを行ってまいります。
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	現在は児童発達支援センターとの連携を図っています。		必要に応じ各関係機関と情報共有を図ります。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	該当者なし		今年度初めての卒業生が複数人いるた積極的に情報提供を行います。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	現在は児童発達支援センターとの連携を図っています。		必要に応じ各関係機関と情報共有を図ります。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	コロナの影響もあり現在は行っていません。	いいえにしましたが特に不満はない。	感染状況を見極め必要に応じ実施したい
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	コロナの影響もあり現在は行っていません。		感染状況を見極め必要に応じ実施したい
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時、アセスメント時にしっかりと説明を行っている。	はい75% どちらともいえない25%	引き続き継続する。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	契約時、アセスメント時にしっかりと説明を行っている。	はい62.5% どちらともいえない37.5%	引き続き継続する。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	見学时、契約時に様々なお話を聞かせていただきその都度対応しています。	はい37.5% どちらともいえない62.5%	より良い支援環境づくりのために今後より力を入れて対応したい。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時や電話連絡など極力密に保護者と情報共有を行っている。	はい75% どちらともいえない25%	今後もより一層力を入れて取り組んでまいります。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	送迎時や電話連絡など極力密に保護者と情報共有を行っている。	はい37.5% どちらともいえない62.5%	今後もより一層力を入れて取り組んでまいります。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	コロナの影響もあり現在は行っていません。	はい25%わからない12.5%どちらともいえない62.5%	感染状況を見極め必要に応じ実施したい
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	現在まで明確な苦情はありませんがその都度真摯に対応してまいります。	はい87.5%どちらともいえない12.5%	保護者の声にしっかりと受け止め真摯に対応してまいります。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	必要に応じ適切に行っている。	はい100%	今後もより一層力を入れて取り組んでまいります。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	ライン、ブログ、facebook、instagramを活用しています。	はい100%	今後もより一層力を入れて取り組んでまいります。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	鍵付き書庫にて保管	はい87.5%わからない12.5%	引き続き継続する。
	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	研修などで周知している。	はい62.5% どちらともいえない37.5%	今後もより一層力を入れて取り組んでまいります。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	感染状況を踏まえながら行っている。	はい62.5% どちらともいえない37.5%	今後もより一層力を入れて取り組んでまいります。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	事業所内での研修を行っている。		今後は外部研修や外部講師の派遣も検討していく。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	現在該当する事例はありません。		今後そのような事例がある場合はしっかりと手順を踏んだ対応を行う。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	保護者からアセスメント時に聞き取りを行い対応している。		引き続き継続する。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	スタッフ間で共有している。		引き続き継続する。